

「末廣亭で落語を楽しもう」

クラブ活性化委員会

委員長 L 永田晴夫

「蓼食う虫も好き好き」とかで、落語オタクに近い L 永田と杉山 L の 2 人が計画した催しでした。3 月 20 日の新宿末廣亭は、ちょうど春分の日で連休の真ん中ということもあって、参加者は関口 L、石野 L、武市 L、杉山 L の友人と上記の 2 人合計 6 人でした（後で白川 L も参加）。

中に入ってびっくり、中高年ばかりだろうと思っていたら、大半が若い人で、しかもアベックが多い・・・「世の中変わった。これじゃ古典落語の質が落ちるはずだ」等と思うのは年寄りのヒガミか。

参加者全員が一致して「面白かった！」と声を上げたのは山内某（記憶不確か）の声色漫談でした。冒頭、長男の入園試験で「学習院」の面接に父兄として同行した時の話から始まります。試験官の質問に対して父親とし

て回答するのですが，それが何と天皇陛下の声色なので大爆笑！競馬アナウンサーかスポーツアナウンサーの突き放したような地語りの語り口で懐メロ歌手の物まね歌謡漫談をやり，最後に昨今の世評を田中角栄でやって締める，お見事としか言えませんでした。

曲芸，手品等色物の江戸時代以来の伝統芸能もたっぷり楽しんだあとは，近くの「維新號」に席を変え，おいしい中華料理とお酒を心ゆくまで楽しんだ一晩でした。

以下，各メンバーのコメントです。

杉山 L：久し振りに行きましたが，あんなに混んでいると思わず，若い人が多いのでびっくり。トリで出た古今亭志ん橋（弟弟子の志ん輔の代演）は私の高校の先輩で，懐かしくも嬉しかった。

関口 L：昔はよく通いました。何十年振りかの末廣亭でしたが，江戸以来の伝統を感じる良い雰囲気でした。ぜひ又企画

して欲しいですね。

石野 L : 生まれて初めて寄席というものに行きました。いやぁ実に面白かった。

武市 L : 年 1 回は行きますが、とりわけ正月の寄席は晴れやかで又にぎやかで楽しいですよ。

白川 L : 残念ながら寄席は行けず。中華とりわけ「フカヒレ」は全員大好評で素晴らしかった。